

たいとう 区議会だより



おもな内容

一般質問	2、3面
議案等の概要と審議結果	4面
委員会活動	5面
区議会からのお知らせ	6面

No. 185 平成25年7月20日発行

編集 議会報編集委員会 発行 東京都台東区議会

第1回臨時会 / 5月15日

第2回定例会 / 6月3日～6月26日

〒110-8615 台東区東上野4-5-6 ☎ 03(5246)1472・1473 <http://www.city.taito.lg.jp/index/kugikai/>

議会三役決まる

平成25年第1回臨時会

台東区議会は、平成25年第1回臨時会を5月15日に開会し、議長・副議長の選出、議会選出監査委員選任の同意や、常任委員会委員の所属変更、議会運営委員会委員及び特別委員会委員の辞任・選任等を行いました。

議長・副議長の辞任に伴う後任の選挙では、議長に和泉浩司議員（台東区議会自由民主党・無所属の会）を、副議長に石川義弘議員（台東区議会自由民主党・無所属の会）を選出し、議会選出監査委員に小坂義久議員（台東区議会公明党）を選任することに同意しました。

『一般会計補正予算（第3回）』、『軽度外傷性脳損傷患者に係る診断基準の構築と労災認定基準の改正等を求める意見書』などの議案を可決

平成25年第2回定例会

台東区議会は、平成25年第2回定例会を、6月3日から6月26日まで24日間にわたって開催しました。

第2回定例会では、浅草橋駅周辺環境整備、水辺空間の活用などについての区長所信表明や、これに対する各会派の一般質問が行われました。

また、小中学校理科教育設備整備の経費、稲荷町自転車駐車場整備等の経費などを計上した『平成25年度一般会計補正予算（第3回）』、『軽度外傷性脳損傷患者に係る診断基準の構築と労災認定基準の改正等を求める意見書』など議案12件を可決したほか、皆さんから提出された陳情15件を審議しました。

就任のあいさつ

議長 和泉 浩司



副議長 石川 義弘



監査委員 小坂 義久



区民の皆様には、平素より台東区議会の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私どもは、去る5月15日に開かれた区議会臨時会におきまして、議員多数のご推挙をいただき、台東区議会議長・副議長、台東区監査委員に就任いたしました。誠に身に余る光栄であり、その職責の重大さに改めて身の引き締まる思いでございます。

近年、自治体を取り巻く環境は、地方分権により国から地方への権限移譲が進められるなど、刻々と変化しており、区民の代表として意思決定を行う区議会の果たす役割と責任は、ますます重要性を増してきております。

本区においては、行財政基盤の強化に向けた着実な取り組みとともに、未来を担う子ども達の健全な育成と教育・保育環境の整備、福祉・健康・環境施策の充実、防災対策の強化、産業・文化・観光の振興など、社会情勢や区民ニーズを反映した施策を着実に推進していく必要があります。

区議会では、区民の皆様のご意見を反映しながら、より充実した審議を重ね、区との協力・連携のもと、さまざまな課題の解決に全力で取り組むとともに、より開かれた議会に向け、さらなる可視化を進めるなど、議会改革を推進してまいります。

今後とも、区議会の活動に区民の皆様の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 政務活動費（従来の区政調査研究費）の公表 ●

台東区議会では、議会改革の取り組みの一環として、政務活動費（従来の区政調査研究費）の会派別収支状況を公表しています。地方自治法の一部改正に伴い、平成25年3月1日より「区政調査研究費」の名称が「政務活動費」に変更となりました。平成24年度分については、「区政調査研究費」として取扱い、収支状況等は次のとおりです。

区政調査研究費とは

地方自治法や「東京都台東区議会区政調査研究費の交付に関する条例」に基づき、区議会議員による区政の調査研究に必要な経費の一部として、議会の会派に対し交付するものです。

区政調査研究費の使途

交付された区政調査研究費は、使途基準に従い必要な経費に限定して支出することができます。

次のような経費に支出することは認められません。

- ・選挙活動、政党活動、私的な活動に属する経費
- ・慶弔、見舞い、餞別等の交際的経費
- ・議員だけが出席する会議に要する経費や専ら飲食のみに要する経費

平成24年度の会派別収支状況

平成24年度（平成24年4月～平成25年3月）の区政調査研究費の各会派別収支状況は次のとおりです。

（単位：円）

経費項目	説明（主な経費）	平成24年4月～平成25年3月						
		会派名	自由民主党・無所属の会（9名）	区民クラブ（8名）	公明党（5名）	みんなの党・無所属クラブ（5名）	日本共産党（4名）	無所属の会・台東（1名）
	交付額(A)		13,500,000	12,000,000	7,500,000	7,500,000	6,000,000	1,500,000
研究研修費	研究会や研修会を開催、又は参加に要する経費		481,400	202,540	13,430	251,000	125,500	0
調査旅費	先進地調査又は現地調査に要する経費		3,042,789	2,764,766	1,170,380	11,310	0	5,655
資料作成費	資料の作成に要する経費		3,925	17,325	0	0	1,181,538	0
資料購入費	図書、資料等の購入に要する経費		599,079	410,781	349,785	319,354	622,602	14,600
広報費	調査研究活動、議会活動及び区の政策について区民に報告し、PRするために要する経費		329,594	2,466,199	1,342,448	1,819,500	572,726	1,203,700
広聴費	区民等から区政及び会派の政策等についての要望、意見を収集するために要する経費		3,400,600	828,570	1,205,500	503,000	42,880	8,000
交通通信費	日常的な調査研究活動に係る交通、通信に要する経費		4,922,128	3,082,949	1,698,576	1,313,851	826,221	398,054
人件費	補助職員を雇用する経費		480,000	22,720	0	2,304,000	0	0
事務費	会派の事務運営に要する経費		1,312,200	2,378,975	1,602,636	1,263,786	3,041,143	30,784
	支出額(B)		14,571,715	12,174,825	7,382,755	7,785,801	6,412,610	1,660,793
	差引額(A-B)		△1,071,715	△174,825	117,245	△285,801	△412,610	△160,793

※各会派への交付額は、1人あたり月額125,000円に会派人数を乗じた月数分で算出されます。

※各会派の支出額が、交付額を下回った場合は、区に返還されます。

領収書等関係書類の閲覧

各会派が支出した区政調査研究費の領収書、報告書等の関係書類については、情報公開請求の手続きにより、閲覧をすることができます。

◎台東区議会では、5月1日から10月31日までクールビズを実施しています。